



VOL 37

2010年7月号
発行2010年6月30日
日本山岳会 山岳地理クラブ
URL www.jac.or.jp/doukoukai/

行ってきました

会津・長卸山(ながおろしやま 1068)

平野 彰

6月13日(日)会津の長卸山へ行ってきました。あまり馴染みの無い山かと思うが、場所は南会津町舘岩で木賊温泉の近くある。標高は1068m、登山口からの標高差は320mほど。所属の山岳会の年2回ある春の総会で、12日は湯の花温泉泊まりで翌日は観光で帰るつもりだったのでスニーカーで参加した。会議の席上、幹事から山行の説明があり、手ごろな山で参加者も多かったので登ってみることにした。当日は青天で翌14日からは梅雨入りとなったので貴重な一日だ。早朝数台の車に分乗して、旅館を出発。湯の花と木賊を結ぶ九十九折の唐沢峠も近年完成したトンネルのお陰で随分と楽になった。登山口前の駐車場ではエゾノヒレゼミ声が初夏の到来を告げている。清流西根川の橋を渡ると室山熊野神社だ。神社横の石の鳥居をくぐり101段の石段を登ると奥社の広場だ。弾んだ呼吸を整え、平成11年に整備された山道に入る。尾根上の道はしばらく行くと緩やかになり、久しぶりの仲間同士会話も弾む。松や雑木の林がさらに高度を上げるとミズナラが目立つ、道にはイワウチワが点々と続くが花の時期は過ぎたようだ。やや急になったところで東側からの登山道と合流、まもなく頂上だ。山頂には石の祠が祭られていて、地元の人が嵐祭(たけまつり)としてお神酒を上げているという。西側の樹林の間からは会津駒ヶ岳が真っ白な勇姿を見せていた。20分ほどの休憩後下山開始。東側の急な下りはさらに車道を30分ほど歩くので、健脚二人に任せ残りはもときた道を下る。頂上直下は滑りやすく慎重さが必要だが、ここを過ぎると後は楽な道だ。二人組みを迎えに行くため一足先に下山、35分で神社に到着。後続が集合したところで解散となった。我々は湯の花で汗を流す。今日は田代山の山開きだが時間が早いので風呂は貸切状態でゆっくり楽しむことが出来た。

図書・資料の紹介

「森に行く」 米倉久邦・著 日本林業調査会 ¥1800-
著者はフリージャーナリスト(元共同通信社)であり現在JAC科学委員会委員長を務める。また森林インストラクターでもあり、今回、日本各地の森を題材に、その豊かさや危機の実態を伝えるルポを出版した。副題に--「人と森のかかわり」を訪ねて--とある。(平野)

例会の議事録

2010年6月9日(水) 18:50~20:05 於JAC集会所

出席者15名(北野 平野 近藤 片野 寺田(正) 寺田(美) 高橋 鶴田(泰) 大西 川口 長谷川 渡辺 山下 小松原 今井(順不同))

内容: 多摩川・荒川・相模川分水界踏査のコースを検討してみた(別紙)。奥多摩駅・川乗橋蕎麦粒山・大根山ノ神・鳩ノ巣駅コースを9月25日(土) 柳沢峠・大菩薩嶺・石丸峠・松

姫峠・奈良倉山・鶴峠コースを11月6,7日(土、日)に仮予定したい。(北野) 国土地理院と契約した登山道調査の担当官が交替した。6月22日(火)16時に挨拶訪問がある。(北野) 終了後「鮭の家」で懇親会(16名:遠山会員合流参加)。以上 (記録:今井)

連載 ゆにーく 標識&標石

球分体がある苔むした標石

碓氷峠見晴台



長野県北佐久郡軽井沢町の旧軽井沢の上に碓氷峠見晴台がある。眼の前に妙義山系の独特な山々、左から関東平野、西上州、奥秩父、八ヶ岳、北アルプス方面が望める素晴らしい見晴台である。

大正七年、土地所有者であった名古屋市の近藤友右衛門は、この山頂を開拓し遊歩道と各種観光施設を多額の費用を掛けて完成させ軽井沢町に寄付した。その見晴台に入って右手の水道の傍に写真の苔むした標石が傾いている。これ

はその時に個人が設置した水準点なのか、標石の上に球分体があり、側面には漢字で標高らしきことが刻まれているが風化し苔むしているため残念ながら判読不可能。そこで管理している管の軽井沢町に尋ねたが、判読どころが存在すら知らないという行政であった。

これについて御存知の方いましたら教えて下さい。(遠山)

お知らせ

次回の例会

日時 **2010年7月14日(水)** 18:30から
於: 山岳会 ルーム
テーマ: 山行計画、報告、会報の継続について ほか

編集後記

>今回諸般の事情により発行が遅れ、さらに紙面が大幅に縮小せざるを得ないことになり、たいへん申し訳ございません。言い訳がましい事ですが、編集子の怠慢により掲載する原稿が無いことが理由のひとつです。今後も同じような状況が続くことが予想され発行の継続が極めて危うい状況だということをお伝えざるを得ません。できることなら何とか継続させたいと思っておりますが、この件について次回例会において皆さんに相談したいと思っております。(kon)

AGC レポート vol-37 2010年6月30日発行
発行: 日本山岳会・山岳地理クラブ(代表:北野忠彦)
〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
編集担当: 近藤 E-mail: hikarikon@nifty.com